

議会改革

特集

傍を会議

一、モニター大型議場

議場にモニターを設置



議場にモニターを4台設置。

傍聴席は議員席の後方にあり、高低差もあります。これまで傍聴者から「議員席が見えにくい」という意見が寄せられていました。

議会改革の一環として、6月定例会から議場に大型モニターを設置しました。それにより傍聴者からも一般質問や採決の様子、議員の表情などがはっきりと分かるようになりました。今後はインターネット配信等も検討しています。南風原町議会は町民に「見える議会」で、より活発な議論を行い、町の発展、福祉の向上につなげます。

一般質問席が登場

これまで一般質問は最初に壇で質問した後、議員が自席に戻り、町側の答えを聞いて、再質問を行っていました。

町長への質問であるのに、他の議員に向かい質問をするため、不自然な印象を傍聴者に与える可能性がありました。

そこで、町長と向き合い議論する姿勢を明確にしようと、議員席側に一般質問席を設けました。



議員は町長と対面して質問。

一般質問席の設置は移動時間の短縮のみでなく、町長の顔をしっかりと見て質問することができ、議会と町長の二元代表制の役割を明確に示すことができました。

町長へ要望書を提出

4月23日、25日の議会活動報告会でいただいた町民のみなさまからの意見を8月5日に町長へ提出しました。

議会は5項目を重要な要望とし、早急な対応を求めます。

- 1、町道22号線のライン引きを
- 2、図書館の開館を早い時間に
- 3、環境の杜、開邦高校周辺にバス路線の検討を
- 4、すべての公共施設に太陽光パネル設置を
- 5、へちま用強化型ハウス補助は専門農家を優先に



議会は町民からの意見をまとめ、中村勝議長が町長への要望書を手渡しました。